（様式第３号）

企業・団体名 （ (株)北陸ジオテック ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

項目番号	カテゴリ	チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に○をつけてください	【非該当】の場合選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																	
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している		○		基本（必須）	○		全従業員が公平に働けるよう、社内教育の実施と相談体制の整備を行っている。					●			●		●					●	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備し、ハラスメントがないことを確認している		○		基本（必須）	○		ハラスメント防止研修の実施と相談窓口の設置により、安心して働ける職場環境を整備している。					●			●							●	
3		【ワーク・ライフ・バランス】 ・過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワーク・ライフ・バランスを推進している		○		基本（必須）	○		労働時間の適正管理と有給休暇取得の促進により、仕事と家庭の両立を支援している。					●			●								
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認するとともに、日本語教育の充実や地域住民との交流促進など、受入環境整備に取り組んでいる		○		基本（必須）		○	弊社では、外国人労働者を雇用していない。				●				●		●							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		安全教育の実施と定期的な安全点検により、労働災害の防止に取り組んでいる。			●					●									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		定期的な面談や相談体制の整備を通じて、従業員のメンタルヘルス維持に取り組んでいる。			●													
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		性別や年齢、国籍等を問わず、多様な人材が活躍できる職場環境を整備している。					●			●		●							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している		○		基本（必須）	○		社内研修や資格取得支援を通じて、従業員の能力開発と人材育成に取り組んでいる。				●	●			●	●								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している		○		基本（必須）	○		同一労働同一賃金の考え方に基づき、公平な評価と処遇を実施している。					●			●		●							
10		【就業制度の改善】 ・子育てなど一人ひとりのライフスタイルに合わせた就業制度の導入、ワークライフバランスの実現に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		有給休暇の取得促進や柔軟な勤務体制の整備により、仕事と家庭の両立を支援している。	●		●		●			●		●							●
11		【男性育休の取得推進】 ・男性の育児休業が取得しやすい職場環境づくりに努め、子育てと仕事の両立に積極的に取り組めるよう、有給休暇制度等を設けている		○		基本（必須）	○		男性の育児休業取得を推進し、有給休暇制度の活用を通じて仕事と子育ての両立を支援している。			●		●			●		●							
12		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる		○		チャレンジ（任意）						●					●									
13		【生活困窮者の雇用・生活支援】 ・ひとり親、就職氷河期の非正規雇用者、失職者など生活困窮者の採用、生活環境改善の支援、職能・人材育成に積極的に取り組んでいる		○		チャレンジ（任意）				●	●	●		●			●		●	●						●
14	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		廃棄物の分別・適正処理を徹底し、リサイクルの推進に取り組んでいる。											●	●		●			
15		【エネルギーの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本（必須）	○		電気・燃料使用量を把握し、省エネルギー設備の活用や節電活動を実施している。							●					●				
16		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、CO2の削減など排出の抑制に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		温室効果ガス排出量を算定し、CO_2排出量の削減目標の設定と省エネルギー活動を推進する【予定】							●					●	●				
17		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		化学物質の保管場所を定め、漏洩防止対策を実施している。			●			●					●	●					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に〇をつけてください	【非該当】の場合選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																	
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本（必須）		○	弊社では、生物多様性や生態系に影響が及ぶ事業活動を行っていない。						●								●	●		
19		【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	○			基本（必須）	○		廃棄物の分別･リサイクルを徹底し、資源の有効活用と廃棄物削減に取り組んでいる。												●		●			
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・自家消費型再生可能エネルギーの利用に取り組むとともに、省エネの促進に取り組んでいる	○		○	基本（必須）	○		太陽光発電設備の導入を検討･推進している。【予定】							●						●				
21		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	○			チャレンジ（任意）									●											
22		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	○			チャレンジ（任意）						●			●	●					●	●	●	●		
23		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	○			チャレンジ（任意）															●					
24		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の保全と持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	○		○	チャレンジ（任意）										●		●			●	●	●	●		
25	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		○		基本（必須）	○		汚職･贈収賄を禁止する社内ルールを整備し、コンプライアンス教育を実施している。																●	
26		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		○		基本（必須）	○		不正行為の防止に向けた社内体制を整備している。																●	
27		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		知的財産に関する法令を遵守し、適切な管理を行っている。								●	●								
28		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本（必須）	○		個人情報保護に関する社内ルールを整備し、適切な管理を徹底している。																●	
29		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って**<u>いないこと</u>**を確認している		○	○	チャレンジ（任意）																			●	
30		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	○	○		チャレンジ（任意）								●			●		●		●	●	●	●	●	●
31		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/		○		チャレンジ（任意）						●					●	●	●							●

項目番号		チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に○をつけてください	【非該当】の場合選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																	
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			○	基本（必須）	○		品質管理体制を整備し、製品・サービスの安全性確保に取り組んでいる。			●									●					
33	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している			○	基本（必須）	○		業務手順の標準化や従業員教育を通じて、サービス品質の維持・向上に取り組んでいる。									●								
34	製品・サービス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	○		○	チャレンジ（任意）									●						●	●	●	●		
35	製品・サービス	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		○	○	チャレンジ（任意）				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
36	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している		○	○	基本（必須）	○		法令を遵守し、地域環境に配慮した事業活動を行っている。				●					●		●	●		●	●		●
37	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、地域活動への参加など持続的な社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		○	○	チャレンジ（任意）							●							●			●	●		●
38	社会貢献・地域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している		○	○	チャレンジ（任意）											●	●		●	●	●				
39	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している		○		基本（必須）	○		定期的な会議を通じて、経営理念及び経営目標の共有を図っている。								●	●								●
40	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している		○		基本（必須）	○		法令遵守体制を整備し、従業員への周知徹底に取り組んでいる。															●	
41	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している		○		基本（必須）	○		社会・環境課題への対応を推進する担当者を定め、管理体制を整備する。【予定】															●	
42	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）		○		基本（必須）	○		顧客や取引先との対話を通じて意見・要望を把握し、事業活動の改善に活かしている。															●	●
43	組織体制	【DXの推進】 ・デジタル技術を積極的に活用し、職員等の業務効率化や生産性向上に積極的に取り組んでいる		○	○	基本（必須）	○		業務管理ソフトやクラウドサービスを活用し、業務効率化と生産性向上に取り組んでいる。			●					●	●								
44	組織体制	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、職場安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している		○		チャレンジ（任意）																		●	
45	組織体制	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		○		チャレンジ（任意）																		●	
46	組織体制	【事業継続】 ・過去の地震や水害などを教訓として事故や災害、さらにサイバー攻撃などの発生における事業継続計画を立案している		○		チャレンジ（任意）												●		●		●			●	
47	組織体制	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		○		チャレンジ（任意）											●	●								●

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組の「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、【予定】と補記してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、「チェック項目」に関する具体的な取組を記載してください。